

網津公民館だより

令和 7 年
11 月号

冬の気配を感じる季節となりました。公民館だより 11 月号をお届けします。

< 第 3 回成人講座：熊本県環境センター視察研修 >

10 月 4 日 (土) 開催

網津公民館第 3 回成人講座は、10 月 4 日 (土) 網津婦人会とのコラボで熊本県環境センター・水俣病資料館の視察研修を行いました。市のマイクロバスを借り参加したのは 20 名。10 時に熊本県環境センターに到着し、まず会議室で環境学習の講義を受けました。案内ガイドは優しい語り口の平尾さん。講義は「幸せなら手を叩こう」の合唱から始まりました。そして地球には一千億の生物が生息している。恐竜時代は千年に一種の生物が減っていたが、現在は 13 分間隔で一種の生物が減っている。地球温暖化・海洋汚染など環境問題は待ったなしの状態など切実な訴えに心を動かされました。この後、各種展示コーナーを回り最後是水俣病資料館見学です。昭和 31 年に顕在化した水俣病。資料館にはその歴史写真など風化させてはいけない貴重な資料がたくさんあり、涙ぐむ姿も見受けられました。この施設は県下全小学 5 年生が見学に来るそうです。水俣に行かれた際は見学をお勧めします。



< 第 5 回生涯学習講座：俳句を楽しむ会 >

10 月 8 日 (水) 開催

第 5 回生涯学習講座「俳句を楽しむ会 (式水会)」は 10 月 8 日 (水) 7 名が参加して始まりました。公民館長挨拶の後、講師伊勢聰さんより、今回の応募作品 21 句の紹介があり参加者の創作心情を聞き評し合いました。主要応募作品は以下の通り。

(10 月の兼題 鱸雲 月見 雁)

1. 月見草 白い花咲き 愛感じ (コーショー)
2. 草刈りて 寝ころび見るや 鱸雲 (慈風)
3. 名月や 海床路照らす 花道となり (エルビス)
4. 彼岸花 あちらこちらと 顔を出す (ニャン吉)
5. 今日も見る 光源氏も 見た月を (エーデル)
6. 稲稔る ちょっと足止め 空を見る (佐助)
7. 雁が飛ぶ 編隊組んで 風避けて (甚平)

今回は網津小学校 6 年生が作った俳句 32 句を借りて評し合いました。評価の高かった作品 2 句を紹介致します。

1. 夏の音 炭酸弾く ラムネ瓶
2. 青空に 透きとおる海 たからもの

小学生の作った俳句はいかがでしょうか？子供らしさにあふれています。

11 月は即興で俳句を作ります。



< 第 3 回青空教室：ふれあいモルック大会 >

10 月 11 日 (土) 開催

第 3 回子供地域活動「ふれあいモルック大会」は 10 月 11 日 (土)、晴れ渡った青空のもと朝 10 時から網津地区グラウンドで行いました。集まったのは 10 名の子供達。講師は住吉いきいきクラブ 12 名の方々。モルックはフィンランド発祥の「モルック棒」を投げて、数字が書かれた「スキットル」と呼ばれる木のピンを倒し、先に 50 点ちょうどにするのを競うスポーツ。初心者が多いためルール説明、予行演習を行い 4 班に分かれて競技が始まりました。講師の皆さんは孫に接するように「うまいよ!」「ナイス!」など励ましの言葉を連発。和気藹々と競技は進み、50 点ちょうどになったチームからはひと際大きな歓声が上がりました。子供たちからも「楽しかった」「またやりたい」などの声が聞かれました。住吉いきいきクラブ (伊藤俊一会長) の方々には暑い中、指導していただきありがとうございました。感謝申し上げます。



☆ 11 月の予定 ☆

- ◎ 第 5 回成人講座：人権学習「身近な差別について」 講師＝折田衛章人網津小学校校長 (11 月 1 日)
- ◎ 第 6 回生涯学習講座：「俳句を楽しむ会 (式水会)」 講師＝伊勢聰さん (11 月 12 日)
- ◎ 第 4 回青空教室：「紙飛行機作り」 講師＝荒木康孝さん (11 月 15 日)
- ◎ 第 6 回成人講座：「大人のマジック教室」 講師＝向井明彦さん (11 月 26 日)

< 館長からのメッセージ >

心に残る名言を選んでみました。参考になれば幸いです。

「人は歳をとるから 笑わなくなるのではない 笑わなくなるから歳をとるのだ」(バーナード・ショウ)
「若いときは美しいが 老いると もっと美しい」(ココ・シャネル)
「老いることは 新しい自分に出会うこと」(瀬戸内寂聴)
「下を向いていたら 絶対に 虹は見つけれないよ!!」(志村 けん)